

				-				
--	--	--	--	---	--	--	--	--



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

平成29年度住宅市場動向調査

＝ 既存(中古)住宅購入者アンケート調査票 ＝

○この調査は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に、既存(中古)住宅を購入し、すでに入居されているか、諸手続きが済みしだい入居する予定の方にお願ひするものです。

○この調査票は、回収用封筒に密封のうえ、調査員が後日お伺ひした時にお渡しください。

○この調査は、無記名式で行っております。調査票にご回答いただいた内容は、統計上の目的以外に使用することはありません。

☆ご回答にあたってのお願い

① 原則、世帯主の方にご記入をお願いします。もし、世帯主以外の方がご記入される場合は、世帯主の方の立場でご記入ください。

② 濃い目の鉛筆又はボールペンではっきりとご記入ください。

③ ご回答は指定された 内に該当する数値を記入するか、該当する選択肢番号に丸印をつけることによりお願いします。

今回購入した住宅の所在地（調査員記入欄）	
都道	区市
府県	町村

住宅の建て方（調査員記入欄）
1. 一戸建て（一つの建物が一つの住宅であるもの）
2. 集合住宅（一つの建物に複数の住宅があるもの）

（調査員記入欄）

調査員名： _____

回収予定日： 月 日

平成29年9月

国土交通省住宅局

I. 平成28年4月1日から平成29年3月31日に購入された住宅（以下、「今回購入された住宅」といいます。）に関連しておたずねします。

問1. 今回購入された住宅は、何回目の住宅取得ですか。（○はひとつ）

1. 今回が初めて	2. 2回目	3. 3回目以上
-----------	--------	----------

（注）ここでいう住宅取得は、住宅の新築、購入（既存(中古)住宅を含む）、建て替え、譲り受け、相続など、持ち家を得ることを指します。

問2. 今回購入された住宅に決めるまでに、他にどのような住宅を検討しましたか。（○はいくつでも）

1. 新築一戸建て（注文）	2. 新築一戸建て（分譲）	3. 新築マンション	4. 中古一戸建て
5. 中古マンション	6. 賃貸住宅	7. その他（	）

問3. 今回購入された住宅に決めた理由（○はいくつでも。（「5」にお答えの場合は、問3-1もお答えください。）□

1. 価格が適切だったから 2. 一戸建てだから 3. マンションだから 4. 信頼できる住宅メーカー（住宅販売業者）だったから 5. 住宅のデザイン・広さ・設備等が良かったから （問3-1へ） 6. 住宅の立地環境が良かったから 7. 昔から住んでいる地域だったから 8. 親・子供などと同居した、または近くに住んでいたから 9. 適切な維持管理が見込めるから 10. 将来、売却した場合の価格が期待できるから 11. その他（
--

問3-1. どの部分が良かったのですか。 （○はいくつでも） 1. 住宅のデザインが気に入ったから 2. 住宅の広さが十分だから 3. 間取り、部屋数が適当だから 4. 台所の設備、広さが十分だから 5. 浴室の設備、広さが十分だから 6. 段差がない、手すりがあるなど高齢者等への配慮がよいから（バリアフリーなど） 7. 高気密・高断熱住宅だから 8. 火災・地震・水害などに対する安全性が高いから

問4. 今回既存(中古)住宅にした理由（○はいくつでも）

1. 新築住宅にこだわらなかったから 2. 予算的にみて、既存(中古)住宅が手頃だったから 3. 品質が確保されていることが確認されたから 4. リフォームによって快適に住めると思ったから 5. 間取り、台所、浴室等の設備、広さが気に入ったから 6. 外装、内装、水回り等がリフォームされており、きれいだったから	7. 保証やアフターサービスがついていたから 8. 住みたい地域に、適当な新築住宅がなかったから 9. 早く入居できるから 10. その他（
---	---

問5. 住宅の購入にあたり影響を受けたこと（ア～カそれぞれに○はひとつ）

	プラス要因として大きな影響を受けた	プラス要因として多少は影響を受けた	ほとんど影響を受けなかった	マイナス要因として多少は影響を受けた	マイナス要因として大きな影響を受けた
ア)景気の先行き感	1	2	3	4	5
イ)家計収入の見通し	1	2	3	4	5
ウ)地価／住宅の価格相場	1	2	3	4	5
エ)住宅取得時の税制等の行政施策	1	2	3	4	5
オ)従前住宅の売却価格(従前住宅を売却した場合のみ)	1	2	3	4	5
カ)金利動向	1	2	3	4	5

（注）プラス要因は、住宅取得意欲の向上につながった要因と考えてください。
 マイナス要因は住宅取得にあたり不安要因や、住宅取得計画の縮小などにつながった要因と考えてください。

II. 今回購入された住宅と直前の住宅についておたずねします。

問 16. 今回購入された住宅の直前にお住まいだった住宅（〇はひとつ）※直前の住宅は、現在の住宅に入居するまでの仮住まいを除きます。

1. 持家	4. 都市再生機構・公社等 ^{注1} の賃貸住宅	7. 下宿・間借り
2. 社宅、寮、公務員住宅など（勤務先が用意した住宅）	5. 民間賃貸受託（普通借家）	8. 親・兄弟姉妹など親族の住宅
3. 公営住宅（都道府県・市区町村営住宅）	6. 民間賃貸受託（定期借家 ^{注2} ）	9. その他（ ）

(注1) 都市再生機構・公社等は、都市基盤整備公団、住宅・都市整備公団及び日本住宅公団等をいいます。
(注2) 定期借家とは、契約更新がなく期間の満了により終了する借家契約による借家のことです。

問 17. 直前の住宅が賃貸住宅であった場合の月額家賃（共益費を含む。）
（問 16 で「2」～「7」と答えた方のみにおたずねします。）

円 → 問 20 へ

問 20 へ

問 18. 今回購入された住宅の直前にお住まいだった住宅の取得時期（問 16 で「1」と答えた方のみ）（〇はひとつ）

1. 平成 <input style="width: 40px;" type="text"/> 年頃	2. 昭和 <input style="width: 40px;" type="text"/> 年頃	3. 大正以前
--	--	---------

問 19. 今回購入された住宅の直前にお住まいだった住宅の処分方法（問 16 で「1」と答えた方のみ）（〇はひとつ）

1. 売却した（問 19-1 へ）	3. 親、兄弟姉妹など親族が住んでいる	6. 今後売却予定
2. 他人に貸している	4. 空き家になっている	7. 別宅として利用
	5. 取り壊して空き地になっている	8. その他（ ）

問 19-1. 今回購入された住宅の直前にお住まいだった住宅の取得価格と売却価格

住宅の取得価格		住宅の売却価格	
家屋	<input style="width: 100px;" type="text"/> 万円	家屋	<input style="width: 100px;" type="text"/> 万円
土地	<input style="width: 100px;" type="text"/> 万円	土地	<input style="width: 100px;" type="text"/> 万円

※家屋と土地の価格が分割できない場合は、それぞれの家屋の欄に全額を記入してください。

問 20 へ

問 2 0 . 今回購入された住宅と直前にお住まいだった住宅の比較

	項目	直前にお住まいの住宅	今回購入された住宅
問 2 0 - 1	住宅の建て方（〇はひとつ）	1. 一戸建て（一つの建物が一つの住宅であるもの） 2. 集合住宅（一つの建物に複数の住宅があるもの）	/
問 2 0 - 2	延べ床面積 ^{注1} ※坪数は3.3倍して㎡に換算してご記入ください。	㎡	㎡
問 2 0 - 3	敷地面積 ^{注1} （集合住宅の場合は記入不要） ※坪数は3.3倍して㎡に換算してご記入ください。	㎡	㎡
問 2 0 - 4	高齢者対応設備（〇はいくつでも） ※設備がある場合に〇をつけてください。	1. 手すり（便所、浴室、廊下など2カ所以上） 2. 段差のない屋内 3. 廊下などが車椅子で通行可能な幅（おおむね80cm以上） 4. 浴室・トイレの暖房設備	1. 手すり（便所、浴室、廊下など2カ所以上） 2. 段差のない屋内 3. 廊下などが車椅子で通行可能な幅（おおむね80cm以上） 4. 浴室・トイレの暖房設備
問 2 0 - 5	省エネ設備（〇はいくつでも） ※設備がある場合に〇をつけてください。	1. 二重サッシ又は複層ガラスの窓（全部又は一部の窓） 2. 太陽光発電装置	1. 二重サッシ又は複層ガラスの窓（全部又は一部の窓） 2. 太陽光発電装置
問 2 0 - 6	定期借地制度 ^{注2} の 利用の有無（〇はひとつ）	1. 利用していない 2. 利用している	/
問 2 0 - 7	世帯主の方の片道通勤時間 ^{注3}	時間 分	時間 分

(注1) 延べ床面積と敷地面積はつぎのように記入してください。
小数点以下を四捨五入してご記入ください。

(注2) 定期借地とは、当初定められた契約期間で借地関係が終了し、その後の更新のない借地のことです。

(注3) 通勤時間は「無職」または「自宅・住み込みで勤務」の場合は不要です。

問 2 1 . 直前にお住まいだった住宅の所在地

都道府県	区市町村
------	------

Ⅲ. 世帯などについておたずねします。

問 2 2 . 住宅購入当時の世帯主の方の年齢

[]	歳
--------------------------	---

問 2 3 . 世帯主の方の住宅購入当時の職業（〇はひとつ）

1. 農林漁業主	2. 自営業	3. 会社・団体役員	4. 公務員	5. 会社・団体職員
6. 派遣社員・短期社員	7. 年金受給者	8. 無職	9. その他（ ）	

(注) 短期社員とは、雇用の契約期間が1年未満の社員又は契約期間に関わらず臨時的に雇用された社員

問 2 4 . 住宅購入当時の勤続年数（問 2 3 で「2」～「6」と答えた方にお伺いします。）

[]	年
--------------------------	---

(注) 自営業の方は、ご本人の開業時又は親族等から継承を受けた場合は継承時からの年数を記入してください。

問 2 5 . 平成 2 8 年の世帯年収（税込み）

[]	万円
--------------------------	----

(注) ①ご家族全員の収入の合計をご記入ください。
②ボーナス、配当金など財産収入、年金・仕送りなども含みます。
③自営業の方は、売上高でなく所得をご記入ください。

問 2 6 . 今回購入された住宅に住んでいる人（購入された住宅にまだ入居していない時は、当初住む予定の人数）

居住者の合計人数	[]	人	、（そのうち65歳以上の居住者の人数	[]	人）
			（そのうち18歳未満の居住者の人数	[]	人）

IV. 住宅購入資金の資金調達方法についておたずねします。（リフォーム費用は含まない。）

問27. 今回購入された住宅の購入資金はどのように調達されましたか。該当する項目全てに金額をご記入ください。

A. 自己資金の合計 (ア)～(オ)の合計	億	万円	返済期間
(ア) 預貯金、有価証券の売却代金、退職金	億	万円	
(イ) 不動産売却	億	万円	
(ウ) 贈与（住宅取得贈与の対象になるもの）	億	万円	
(エ) 遺産相続	億	万円	
(オ) その他	億	万円	
B. 借入金の合計 (カ)～(シ)の合計	億	万円	年
(カ) 民間金融機関 （住宅金融支援機構提携ローン「フラット35」）	億	万円	年
(キ) 民間金融機関（(カ)以外のもの）	億	万円	年
(ク) 住宅金融支援機構（直接融資）	億	万円	年
(ケ) その他公的機関	億	万円	年
(コ) 勤務先（勤務先の共済組合など含む）	億	万円	年
(サ) 親、兄弟姉妹などの家族、知人	億	万円	年
(シ) その他	億	万円	年
C. 住宅購入資金総額 AとBの合計	億	万円	

問27-1
贈与者が親の場合、親の年齢
(歳)

(注) ① (ア)～(オ)の項目の合計をA欄、(カ)～(シ)の合計をB欄に、A、Bの合計をC欄にご記入ください。
②借入金については元本のみで利息を含まない額をご記入ください。
③その他公的機関の欄には、住宅金融支援機構以外の公的機関からの借入れをご記入ください。

問28. 住宅ローンの有る方（問27で(カ)～(コ)に記入された方のみ）におたずねします。

問28-1. 住宅ローンの支払い額は年間どのくらいですか。

年間支払い額 万円

問28-2. 住宅ローン減税の適用を受けていますか。（○はひとつ）

1. 受けている 2. 受けていない 3. 受ける予定である

問28-3. 住宅ローンの負担についてどのようにお感じですか。（○はひとつ）

1. 非常に負担感がある（生活必需品を切りつめるほど苦しい）
2. 少し負担感がある（ぜいたくはできないが、何とかやっていける）
3. あまり負担感はない（ぜいたくを多少がまんしている）
4. 全く負担感はない（家計にあまり影響がない）

問29. 民間金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちのどれにあたりますか。（○はいくつでも）

（問27で「(キ)民間金融機関（(カ)「フラット35」以外のもの」の金額欄に記入された方のみにおたずねします。）

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 変動金利型 | 5. 固定金利期間選択型（10年超） |
| 2. 固定金利期間選択型（3年以下） | 6. 全期間固定金利型（10年以下） |
| 3. 固定金利期間選択型（5年） | 7. 全期間固定金利型（10年超） |
| 4. 固定金利期間選択型（10年以下（2及び3を除く）） | |

